

令和4年度 第3回柿崎区地域協議会次第

日時：令和4年5月24日（火） 午後6時～

場所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 地域活動支援事業プレゼンテーション 資料1 資料2

5 協議事項

- (1) 地域活性化の方向性の作成について 資料3 資料4 資料5

6 その他

- (1) 第2回地域協議会だより編集委員会の開催について
日 時：令和4年5月24日（火） 地域協議会終了後
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室
- (2) 第17回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議の開催について
日 時：令和4年5月31日（火） 午後6時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室
- (3) 第4回柿崎区地域協議会の開催について
日 時：令和4年6月7日（火） 午後6時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室
内 容：地域活動支援事業採択決定

6 閉 会

地域活動支援事業 プレゼンテーション実施要領

1 趣旨

各団体から提出された地域活動支援事業提案書について、地域協議会が行う審査の参考とするため、事業内容に関するプレゼンテーションを実施するもの。

2 内容

- (1) 各事業の持ち時間を10分以内とする（団体の説明時間を6分以内、質疑応答の時間を4分以内とする）
- (2) プレゼンテーションの参加人数は、各事業5人以内とする。

3 発表団体等

- ・団体名：柿崎農業の未来を考える会
- ・事業名：柿崎区農業の未来を考えるための地域ビジョン策定事業

4 時間

- ・18:00～ 開会及び日程説明
- ・18:10～ プレゼンテーション

令和 4 年度 地域活動支援事業に係る採点票

1 採点対象

受付番号	1	事業名	〇〇〇〇〇〇
提案回数	〇回目	提案者名	〇〇〇〇〇〇

2 採点内容

(1) 基本審査

基本審査内容	左記基準との適合性
・地域活動支援事業の目的と合致しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合する <input type="checkbox"/> 適合しない
適合しない理由	

(2) 地域自治区の採択方針

当区の「優先採択方針」	左記方針との適合性
<u>1 優先して採択する事業</u> (1) 地域の歴史、文化や伝統の保存、活用に資するもの (2) 子どもたちの健全育成に資するもの (3) スポーツや体力づくりをとおして住民の健康増進に資するもの (4) 特産品の開発等により地域産業の活性化に資するもの (5) 観光資源の活用により知名度向上や交流人口の増加に資するもの (6) まちづくりを担う人材育成に資するもの (7) 地域の環境美化に資するもの (8) 姉妹都市を含む他の地域との交流・連携を推進するもの (9) 安全・安心な地域づくりに資するもの	<input checked="" type="checkbox"/> 適合する <input type="checkbox"/> 適合しない

(3) 共通審査基準

審査項目	審査基準	当区の配点	採点欄
①公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案事業の成果が広く地域に還元されるものか。 ・補助金を充てて購入した物品や修繕した施設が、長く地域で活用される見込みがあるか。 ・全市的な方向性と合致しているか。 ・提案者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。 	5	
②必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決や活力向上に効果が見込まれる取組であるか。 ・地域の実情や住民要望に対応したものか。 ・緊急性の高い提案事業であるか。 ・ほかの方法で代替できないものであるか。 ・補助金を充てる経費が、提案事業を実施する上で不可欠なものであり、その規模も必要な限度となっているか。 	5	
③実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・目標（達成すべきこと）や事業内容が明確なものか。 ・関係者との合意形成や組織内部での実施態勢が整っているか。 ・資金調達の規模や時期に無理はないか。 	5	
④参加性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案事業の実施に当たり、提案者に限らず多くの住民等の参加が期待できるものか。 	5	
⑤発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい発想が感じられる取組や、先進的な取組であるか。 ・事業の終了後における自立性や発展性は期待できるか。 ・提案団体に、信頼性や将来性はあるか。 	5	
合計	採点は整数で行ってください→	25	

(4) その他特記事項

--

柿崎区地域協議会 地域活性化の方向性

■ 柿崎区の地域活性化に向けて

柿崎区の _____ という個性(強み、特性)をいかして、
 _____ ます。

■ 構成要素

- 1 _____
- 2 _____
- 3 _____
- 4 _____
- 5 _____

□ 基本形 ※例

- 1 地域活性化の方向性
 柿崎区の **豊富な雪** という個性(強み、特性)をいかして、
暮らす人や訪れる人の地域への愛着を育みます。
- 2 構成要素
 - ・ 雪のある暮らしの魅力の発信
 - ・ 雪をいかした企画の実施
 - ・ 雪室を活用した特産品の企画
 - ・ 期間の安心安全な暮らしの推進

□ 地域活性化の方向性の内容

- ・ 幅広い分野(地域資源・産業・観光・農業・自然・風土等)の中から、柿崎区の個性や特性をいかすことで、地域の活性化につなげるもの。
- ・ 地域の課題解消や現在の状態をさらに良くすることで、地域の活性化につながるもの。
- ・ 柿崎区の目指す姿、理想とする姿、大切にしたいもの。
- ・ 方向性の構成要素は、おおむね1~5つ程度
- ・ 構成、書きぶりは、上記の基本形に沿って作成する。

柿 崎 区 の 概 要

1 沿 革

- ・昭和 30～32 年に当時の柿崎町・下黒川村・黒川村・黒岩村・米山村が合併して柿崎町となった。
- ・平成元年 4 月 1 日に旧米山村の 3 集落が柏崎市に編入した。
- ・平成 17 年 1 月 1 日の市町村合併により上越市柿崎区（面積 85.39K㎡）となった。

2 人 口

○ 人口の推移 [国勢調査] (単位：世帯、人)

年次	区分	世帯数	人口	前回からの人口増減	年間平均人口増減	1世帯当り人口
昭和 35 年		3,193	16,391	—	—	5.1
昭和 45 年		3,245	14,111	△2,280	△228	4.3
昭和 55 年		3,495	13,702	△409	△41	3.9
平成 2 年		3,386	12,880	△822	△82	3.8
平成 12 年		3,574	12,116	△764	△76	3.4
平成 22 年		3,409	10,660	△824	△165	3.1
平成 27 年		3,316	9,837	△823	△165	3.0
令和 2 年		3,196	8,901	△936	△187	2.8

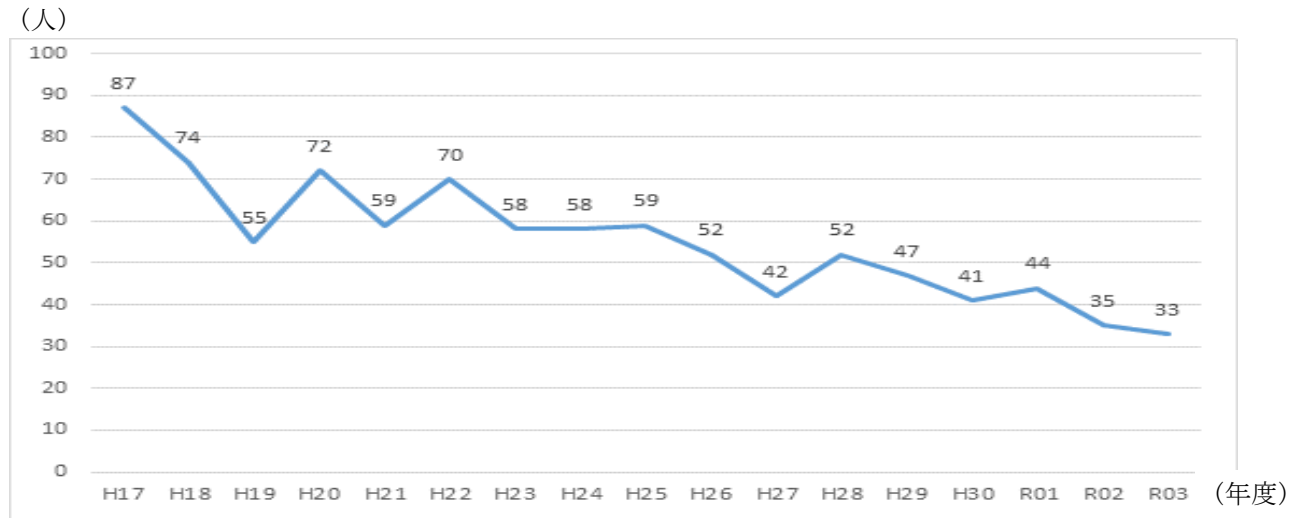
※参考：市全体 平成 22 年 203,899 人→令和 2 年 188,047 人（△15,852 人、年平均 △1,585 人）

○ 柿崎区内高齢化率 [住民基本台帳] (単位：%)

区分	平成 24 年 4 月 1 日	令和 4 年 4 月 1 日	増 減
柿崎地区	32.35	40.37	8.02
川西地区	26.89	39.23	12.34
七ヶ地区	35.49	43.42	7.93
下黒川地区	29.63	41.06	11.43
黒川地区	41.96	54.73	12.77
黒岩地区	69.12	69.81	0.69
区 全 体	31.30	41.30	10.00

参考：市全体	26.51	33.33	6.82
--------	-------	-------	------

○ 柿崎区内出生数

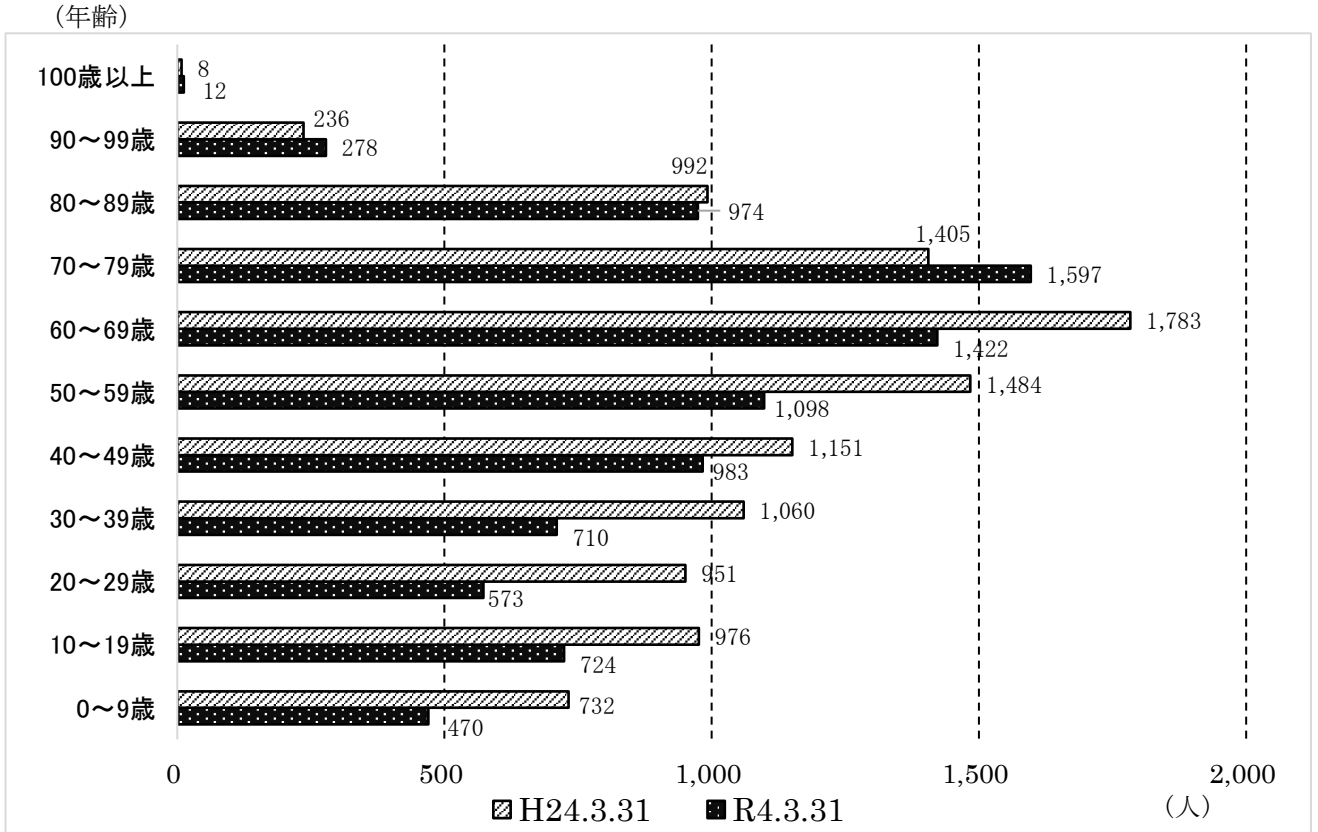


[健康づくり推進課集計]

【参考 柿崎区の住民基本台帳人口及び年齢別分布】

(単位：人)

区分	人口	前回からの人口増減	年間平均人口増減	1世帯当たり人口
平成 24 年 4 月 1 日	10,779	—	—	3.06
平成 29 年 4 月 1 日	9,863	△916	△183.2	2.85
令和 4 年 4 月 1 日	8,845	△1,018	△203.6	2.60



3 福祉・教育

① 保育園児数（令和4年4月1日現在）

（単位：人）

	令和4年4月1日現在							（単位：人）		
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	R3年度	R2年度	R元年度
第一保育園	1	10	17	17	16	23	84	87	89	81
第二保育園	0	8	11	11	9	16	55	57	54	67
上下浜保育園		1	2	3	6	7	19	24	33	41
下黒川保育園	0	2	0	7	13	6	28	31	35	35
計	1	21	30	38	44	52	186	199	211	224

② 小学校児童数（令和4年4月1日現在）

（単位：人）

	令和4年4月1日現在							（単位：人）		
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	R3年度	R2年度	R元年度
柿崎小学校	29	35	35	35	43	34	211	230	239	240
上下浜小学校	15	12	11	12	12	19	81	83	87	84
下黒川小学校	5	10	6	18	5	18	62	65	71	77
計	49	57	52	65	60	71	354	378	397	401

③ 中学校生徒数（令和4年4月1日現在）

（単位：人）

	令和4年4月1日現在				（単位：人）		
	1年生	2年生	3年生	計	R3年度	R2年度	R元年度
柿崎中学校	68	72	57	197	202	210	213

④ 高齢者の状況

		平成24年4月1日	令和4年4月1日	増減	増減率
人 数		3,374人	3,651人	277人	8.21%
	構成比率	31.36%	41.28%	9.92%	
一人暮らし世帯（特養除く）		374戸	550戸	176戸	47.06%
	構成比率	10.63%	17.30%	6.67%	
高齢者のみ世帯（特養除く）		379戸	629戸	250戸	65.96%
	構成比率	10.77%	18.89%	8.12%	
介護認定者数		767人	728人	△39人	△5.08%
	構成比率	22.73%	19.94%	△2.79%	

⑤ 区内の介護保険施設及び事業所（令和4年4月1日現在）

（入所定員：人）

施設名及び事業所名	入所定員	施設名及び事業所名	入所定員
特別養護老人ホーム よねやまの里	100	短期入所生活介護 よねやまの里	20
介護老人保健施設 サンクス米山	100	ショートステイ かきざき	33
通所リハビリテーション サンクス米山	30	ショートステイ サンクス柿崎	40
デイサービス 二幸柿崎	25	短期入所療養介護 サンクス米山	10
デイサービス サンクス柿崎	25	グループホーム 癒しの家「柿崎」	18
柿崎第1デイサービスセンター	18	デイサービス 癒しの家「柿崎」	3
柿崎第2デイサービスセンター	18	計	440

4 産 業

① 事業所数・従事者数

（単位：箇所、人）

	事業所数	従業員数	備 考
平成8年	727	5,299	
平成13年	623	4,728	
平成18年	513	3,624	
平成21年	505	3,655	
平成24年	468	3,393	
平成26年	459	3,493	
平成29年	435	3,343	

[事業所・企業統計調査・経済センサス]

② 工業の状況

（単位：箇所、人、百万円）

	事業所数	従業者数	製造品出荷額
平成16年	44	1,389	39,336
平成19年	39	1,269	33,907
平成24年	26	1,065	31,442
平成26年	26	1,073	37,770
平成29年	27	1,190	41,167
令和2年	24	1,183	32,891

[工業統計調査・経済センサス]

③ 商業の状況 (単位：箇所、人、百万円)

	事業所数	従業者数	年間商品販売額
平成 16 年	154	569	8,632
平成 19 年	137	583	8,143
平成 24 年	105	468	7,059
平成 26 年	87	288	4,015
平成 28 年	89	432	7,450

[商業統計調査・経済センサス]

④ 農業

	平成29年4月1日	令和4年4月1日	増減	増減率
水稲作付農家戸数 (戸)	344	289	△55	△20.2
うち法人数	4	4	0	0
水田経営面積 (ha)	1,067	1,056	△11	△1.0
うち水稲作付面積(ha)	866	911	45	6.2
認定農業者数 (人)	103	85	△18	△3.0
中山間地域等直接支払協定数	4	2	△2	△75.0
集落数	11	16	5	9.1
同上対策取組面積(ha)	161	266	105	46.0
多面的機能支払交付金組織数	20	20	0	0
集落数	42	42	0	0
同上対策取組面積(ha)	1,010	1,019	9	0.3

[農政課・農業委員会集計]

⑤ 経営耕地規模別の農家数 (単位：戸)

年度	区分	計	販売農家						自給的農家	
			例外規定	0.3ha ～ 0.5ha	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha		3.0ha 以上
平成 12 年		805	—	69	167	138	148	89	56	138
平成 17 年		736	1	60	128	138	123	76	59	151
平成 22 年		602	—	41	103	85	57	61	71	184
平成 27 年		533	1	29	62	76	46	49	76	194
令和 2 年		447	3	19	46	48	40	35	79	183

[農林業センサス]

⑥ 農産物販売金額規模別の農家数 (単位：戸)

年度	区分	計	販売なし	販売金額(万円)						
				50未満	50～ 100	100～ 500	500～ 1,000	1,000 ～ 3,000	3,000 ～ 5,000	5,000 以上
平成 12 年		667	38	114	151	333	17	11	3	—
平成 17 年		585	28	76	114	275	21	18	3	—
平成 22 年		418	19	83	120	158	17	19	2	—
平成 27 年		339	8	86	78	131	16	16	4	—
令和 2 年		284	11	77	55	101	18	15	2	5

[農林業センサス]

⑦ 専業兼業別の販売農家数・自給的農家数 (単位：戸)

年度	区分	計	販売農家	自給的農家
平成 12 年		805	667	138
平成 17 年		736	585	151
平成 22 年		602	418	184
平成 27 年		533	339	194
令和 2 年		447	264	183

[農林業センサス]

観光・交流

① 観光・交流の状況 (単位：人)

年度別 入込者数	坂田池 観桜会	お引き上げ	柿崎時代 夏まつり	柿崎花火 大会	米山 登山	海水浴	合計
平成 27 年度	1,500	43,392	10,400	7,200	23,000	19,310	104,802
平成 28 年度	1,100	37,270	9,500	6,400	22,500	18,670	95,440
平成 29 年度	1,240	32,720	8,500	6,500	20,600	11,200	80,760
平成 30 年度	1,010	31,602	8,400	6,000	17,110	4,750	68,872
令和元年度	1,430	41,475	8,400	8,000	18,450	5,530	83,285
令和 2 年度	集計なし	中止	中止	中止	18,900	3,600	22,500
令和 3 年度	集計なし	中止	2,360	3,000	19,100	3,610	28,070

[主催者調べ]

令和2年度 地域協議会と団体との懇談会結果

■開催日時：令2年9月15日（火）

■参加団体：柿崎まちづくり振興課、柿崎観光協会、柿崎商工会、
柿崎町内会長連絡協議会

1 柿崎病院について

- ・現在の上越地域の医療体制はきちんと管理されている。
- ・県立中央病院、上越総合病院を中心とした中で、柿崎病院はサテライト的機能として運営していく。
- ・福祉施設が充実してきたことにより、病院の外来数が減っている。
- ・柿崎病院はなくならないが、以下の3つの役割を持つ病院に変わる。
 - ①一次医療（町医者）的な役割
 - ②県立中央病院、上越総合病院を退院した後のリハビリ機能施設の役割
 - ③看取り医療としての役割

【団体からの意見】

- ・存続の話聞くことができ、安心した。
- ・医師不足が最大の問題。
- ・柿崎病院を存続させるため、地元として何をすべきか考えることが必要

※地域協議会の意見

- ・存続してほしい。
- ・地域協議会として関わることは難しいのでは。

2 県立久比岐高校について

- ・私立高校は進学、スポーツの特色を出して生徒数を確保している。
- ・県立高校はなかなか特性を出せない。特に定員割れの状況では難しい。
- ・高校を残すのか？→生徒を増やさなければならない。
なくすのか？→どういう形に変えていくかが課題

【団体からの意見】

- ・特色あるクラス(学科)をつくることができればよい。
- ・学校近くのコンビニの移動、女子生徒のズボン着用等、子どもの視点での魅

力が減っている。

- ・進学先は親が決めることが多く、親が久比岐高校を敬遠する傾向がある。
- ・久比岐高校がなくなると、そこに通う学力レベルの生徒の受入れはどこになるのか。
- ・久比岐高校を市立高校にするなど、市の学生を受け入れる場所が必要

※地域協議会の意見

- ・魅力ある学校づくりが必要
- ・子どもたちの声を聞く必要性

3 柿崎免許センターの跡地利用について

- ・市民のためのよりよい活用方法がないか検討中。地元として何を期待しているか。案を出してもらいたい。
- ・跡地については、外観が損なうことのないよう、草刈り等を含め管理が必要

【団体からの意見】

- ・川西地区のシンボルのような施設。跡地は柿崎区を活性化させる何かをつくることができたらよい。
- ・よりよい活用方法を考えていきたい。

※地域協議会の意見

- ・跡地活用について検討する。

4 人口減少に伴う空き家対策について

- ・町内会長と連携し、空き家をランク付けするなど情報を整理すべきである。
- ・SNS等を活用して地域から空き家情報を発信する必要がある。そのための組織・団体を立ち上げるべき。

【団体からの意見】

- ・過疎地や中山間地域を盛り上げることができればよい。
- ・街中でも空き家が多く、売りたい人はいるが、買い手がいないのが現状
- ・空き家バンクなどを活用して解決していけたらよい。

※地域協議会の意見

- ・外から人を呼ぶ対策。(お試し移住など)
- ・市全体ではなく、柿崎地域で空き家情報を発信する仕組みづくり

5 今後の柿崎区の在り方について

- ・スポーツ合宿の誘致など、交流人口を増やすようにすべきである。

【団体からの意見】

- ・消費喚起需要拡大プロジェクト『頑張ろうかきざき』として活動し始めた。
- ・今回の懇談会のような、地域の問題を出し合い、問題点を解決していくための組織を立ち上げる必要がある。

※地域協議会の意見

- ・懇談会の継続

6 公共交通のバスの問題について

- ・市の計画では1便当たりの利用者数が1.0人以上にならないバス路線は廃止を検討するとの方針が出された。
- ・協議会として2年間検討し、柿崎区にはタクシー会社があるため、デマンド型乗合タクシーの導入を意見書として提出した。

【団体からの意見】

- ・黒岩線、水野線の利用が少なく、今後は廃止になる可能性が高い。利用を増やせば存続できるが、実際は減っているような状況
- ・路線バスが減少、廃止されているなか、高齢になってからの移動手段が問題
- ・三和区のNPO法人による有償運送のようなことができればよい。
- ・まちづくり振興会もNPO法人化を検討はしているが、様々な問題もある。

※地域協議会の意見

- ・高齢者の意見を聞く必要性
- ・前回の自主的審議事項であり、重要な課題

7 その他

【団体からの意見】

- ・現在集まっている団体や町内会でも、後継者がいないことが問題。市で地域ボランティアの養成講座等を開いてほしい。

※地域協議会の意見

- ・保育園の問題は、継続審議が必要か。

上越市地域福祉活動計画

基本理念 みんなで力を合わせ、笑顔あふれる地域づくり

基本目標 誰もが自分の出番や役割に気づき、思いやりの心で支え合い、自分らしく暮らし続けることができる地域をつくろう

柿崎区地域福祉活動計画

○○○○○○○○○○○○○○○○プラン

みんなの想い

海あり山あり夢もある！みんなで支え合い、いつまでも住み続けたいまち柿崎

意識を育むための 行動目標

1

2

人をつくるための 行動目標

1

2

仕組みをつくるための 行動目標

1

2

活動の行動目標

1

2

■計画の推進に向けて■ 柿崎でそれぞれが進める具体的な取り組みについては、令和〇年度に作成します。

「海あり山あり夢もある！みんなで支え合い、いつまでも住み続けたいまち柿崎」

を実現するために、何ができる？何がしたい？

意識づくり

- ・子供達が柿崎を知る
- ・あいさつ
- ・イベント
- ・町内活動に協力を!!
- ・PR
- ・自分の意識を大切に!!
- ・周りの人を気にする

人づくり

- ・若い人の参加
- ・若手リーダー
- ・役員のなり手
- ・町内役員を若い人に!!
- ・若い世代の時間の確保
- ・若い人の活躍の場
- ・世代間同士のサポート（親が子を）
- ・団体の役員に若い人を!!

仕組みづくり

- ・地域の中で組織、チーム
- ・老人会、子供会が連携
- ・施設の活用(免許センターなど)
- ・老人クラブの活性化
- ・交通の確保
- ・子供を育てやすく
- ・図書館
- ・SNSの活用、タブレットの活用など
- ・医療を支える
- ・学校を中心として
- ・区内を巡回
- ・情報交換の場

活動

- ・きれいにする
- ・気軽に集まれる
- ・遊具の整備
- ・見守り（登下校時）
- ・居場所作り
- ・子供と高齢者の交流の場（昔のことを子供に、継承）
- ・あいさつ
- ・買い物ツアー
- ・ドッグラン
- ・サロン活動
- ・平成生まれと語る
- ・今ある行事を大切に!!（花うえ、ゴミ拾い）

・高齢者への買い物支援